

自然環境部会 2 月定例会報告

2025 年 2 月 4 日 (火) 19 : 30 ~ 21 : 30

M サボ会議室・ZOOM 併用開催

参加者 (会場 8 名、ZOOM 8 名) 16 名+説明者 : 群馬県 1 名

会場 酒井千富 (前橋) 高草木弥生 (みどり) 国安俊夫 (前橋) 西村良子 (前橋)

常見智乏 (前橋) 櫻田稔 (安中) 高橋陽子 (伊勢崎) 田中和夫 (高崎)

ZOOM 井上金治 (前橋)、船津美美 (前橋)、奈賀由香子 (高崎)、上田優希 (前橋)、

松井孝夫 (沼田)、原田邦昭 (高崎)、井野口智子 (館林)、富岡賢洋 (前橋)

群馬県 岩下幸弘 (林政課)

1. 学習会 初めての試みとして YouTube でも同時配信実施

<https://youtube.com/live/8rwnNYxMHw8?feature=share>

(1) 講師 群馬県森林環境部林政課 政策企画係 係長 岩下幸弘 様

(2) 演題 「ぐんま緑の県民基金事業及び森林環境税、森林環境譲与税について」

(3) 配布資料 ①ぐんま緑の県民税 ②森林を生かすしくみ(森林環境贈与税を活用した)

③ぐんま緑の県民基金事業第Ⅱ期中間報告書

配布資料の余部を入手希望される方は国安までご連絡ください。

岩下様より配布資料を基に群馬緑の県民税に関する説明や森林整備、環境教育などの取り組みが紹介され、質疑応答が行われました。

以下 AI の要約に加筆してみました 実際は YouTube をご覧ください。

群馬緑の県民税の概要

岩下幸弘氏が群馬緑の県民税について説明し、その目的が森林の公益的機能の維持であることを述べる。税収は年間約 8.5 億円で、主に水源地域の森林整備事業と市町村提案型事業に使われている。水源地域の森林整備事業では 10,000 ヘクタールの未整備森林を 15 年かけて整備する計画で、市町村提案型事業では里山平地林の整備や森林環境教育などが行われている。また、ボランティア活動の支援や森林環境教育の指導者育成にも取り組んでいる。

県のホームページに掲載されていた団体のイベント情報が中止されたことで参加者が減少している問題についての質問に対し、この問題に対処するため、団体が自由に情報をアップデートできるウェブサイトの作成を検討中であるとの説明があった。また、林業の担い手育成や山林管理、木材製品の生産など、総合的な取り組みの重要性についても話し合われた。

2. 定例会

(1) 報告事項

・ 国安より環境アドバイザー連絡協議会のネイチャーポジティブ宣言について報告があり、環境省のホームページに掲載されたことが報告された。

<https://www.iucn.jp/jgbf-npdeclaration/npdeclaration/01-204.pdf>

- ・ 田中より高山村での取り組みについて報告があった。
- ・ 井野口より東部地区での環境整備活動や観察会の計画について説明があった。
- ・ 上田より3月8日に前橋のザスパークで開催される婚活イベントについて紹介があった。

<http://www.jagunma.net/maebashi/noukon.html>

- ・ 櫻田より3月15日に下仁田女性村ねぎぼうず館で開催の里山スクールの紹介があった。

https://www.komoriuta.jp/wp/wp-content/uploads/2025/01/20250315_2.pdf

(2) 今後の活動計画について

いくつかの案が提案された

- 新・生物多様性基本法に関する勉強会
- 県の出前事業 5-50 森林整備のための路網整備について
自然史博物館 4-7 群馬県の絶滅危惧植物について
4-10 動物と人の関係史
4-11 群馬の地質・岩石について
- 地域環境学習推進事業実施地視察
- 金子氏提案 地域環境学習推進事業利用 温暖化エネルギー部会との共催？
講演会 緑の都市づくりを考える 藤井千葉大名誉教授
- 常見氏提案 現地視察 みどり市大間々 岡直三郎商店（醤油）視察

(3) 次回定例会開催 4月13日（日）午後3時～5時 会場 Mサポ会議室

内容 群馬県の湧水や水資源に関する情報共有

常見さんより湧水のデータや写真を使って説明してもらい、それを基に水に関連する他の活動（西村様の新田湧水群、Refill ぐんまの取組など）や地形地質の情報（扇状地や不透水層など）も紹介する。併せて現地調査の企画提案を頂く